にがい涙の大地から（2004）

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国 日本
色彩 Color
時間 87分
初公開日 2004/

【解説】
監督・編集・撮影は、NHKの元報道ディレクターで、インドネシアの元慰安婦を取材したドキュメンタリー映画「マルディエム　彼女の人生に起きたこと」の海南友子。中国を舞台に、過去の戦争で遺棄された科学兵器によって苦しむ人々の姿を追うドキュメンタリー作品。中国では、撮影中から同行取材するマスコミが殺到したという話題作。
リュウ・ミンは十九歳の時、彼女の父親が旧日本軍の遺棄した砲弾の事故にあった。手足が吹き飛び18日間苦しんで亡くなり、その治療費は莫大な借金になった。家も全て売りはらった家族だったが、一生働いても消せない借金を背負うことに。李臣は29歳の時、川の浚渫作業中に旧日本軍の毒ガスの事故にあった。毒ガス容器に触った両手は水泡だらけになり、ぶどうの房のように膨れ上がった。涙が止まらず体中から膿が出て来て、この後遺症で極貧生活に転落した一家は追いつめられて２回、自殺未遂を図っている。戦争が終わって60年経った今も、中国の大地には日本が棄てた兵器が人知れず眠っているのだ。

【クレジット】
監督 海南友子
撮影 海南友子
編集 海南友子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.